

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局	
	17055	地域人材キラリ育成事業	課名	生涯学習課 社会教育G	
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	05:学びによる生きがいの創出		款	10:教育費
	施策の方向	01:地域へ生かせる学びの展開		項	05:社会教育費
戦略プロジェクト	04:「ジモトノココロ」プロジェクト	目		03:公民館費	
事業予定期間	H 29 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等			

② 目的・概要	対象	市民
	目的	地域での学びを深めて、地域で活躍できる人材を確保していくため、市民大学(仮称)講座・行政講座・中央公民館講座をフィールドに、人材育成のための学びを一體的に推進する。
概要	生涯学習計画に基づき、市民大学(仮称)講座や中央公民館講座を実施する。市民大学(仮称)については、地域人材キラリ育成事業推進委員会の中で「カリキュラムの編成」、「事業方針の決定」、「事業の検証」を行っていく。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地元の魅力・課題・歴史講座等含む) ○市民大学(仮称)展開事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学(仮称)講座の開催 ・推進委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地元の魅力・課題・歴史講座等含む) ○市民大学(仮称)展開事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学(仮称)講座の開催 ・推進委員会の開催(検証等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中央講座の開催 ・出前講座の開催 (地元の魅力・課題・歴史講座等含む) ○市民大学(仮称)展開事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学(仮称)講座の開催 ・推進委員会の開催(検証等) 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中央講座の開催 86回 ・出前講座の開催(地元の魅力・課題・歴史講座等も含め実施) 317回 ○かめやま人キャンパス展開事業 <ul style="list-style-type: none"> ・かめやま人キャンパス講座の開催 ・亀山市地域人材キラリ育成事業推進委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中央講座の開催 72回 ・出前講座の開催 260回 ○かめやま人キャンパス展開事業 <ul style="list-style-type: none"> ・かめやま人キャンパス講座の開催 開催数 15回 延べ受講者数 167人 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央公民館活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中央講座の開催 68回 ・出前講座の開催 155回 ○かめやま人キャンパス展開事業 <ul style="list-style-type: none"> ・かめやま人キャンパス講座の開催 開催数 13回 延べ受講者数 104人 かめやま人認定者 10人 	
事業の計画・実績	計画額	事業費	15,200千円	16,200千円	16,500千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	820千円	820千円	820千円
	一般財源	14,380千円	15,380千円	15,680千円	
	予算額	事業費	15,000千円	15,206千円	15,800千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	200千円	820千円	820千円
	一般財源	14,800千円	14,386千円	14,980千円	
	決算額	事業費 ①	14,318千円	13,363千円	13,590千円
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他		200千円	405千円	405千円	
一般財源	14,118千円	12,958千円	13,185千円		
人件費	総人件費 ②	2,355千円	3,920千円	3,952千円	
	一般職員	2,355千円	3,920千円	3,952千円	
	所要人員	0.30	0.50	0.50	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		16,673千円	17,283千円	17,542千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 高等教育機関と連携した講座数	計画値 1	1	2
		市民大学(仮称)の中で、高等教育機関(大学や高校など)と連携した講座数	実績値 11	7	9
			単位 講座	講座	講座
	②	名称 市民大学(仮称)のカリキュラムの継続実施	計画値 実施	実施	実施
		市民大学(仮称)の体制が確立されてからカリキュラムの内容が継続的に実施されているか	実績値 実施	実施	実施
			単位		
	③	名称 市民大学(仮称)や中央公民館の講座を受けて結成された団体数	計画値		3
		市民大学(仮称)講座や中央公民館講座を受講し、講座を契機に結成された団体数	実績値	2	4
			単位	団体	団体

⑤ 事業の改善	【前回評価の対応方針の概要を記入】	受講後の受講者の活躍を見据えた講座を実施するとともに、行政関連部署や市内外の団体と連携しやすい土壌を形成するため、かめやま人キャンパス自体や受講者の活動を周知していく。また、コロナ禍であっても学びの場を提供するため、ICTを活用した講座の実施を検討し、可能な限りオンラインと会場参加を併用したハイブリッド型の講座を実施する。
	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】	受講者の受講後の活動を見据えて、森と水の守り人養成講座では、市内で活動している団体と連携したフィールドワークを中心とした講座を実施した。また、コロナ禍であっても学びの場を提供するため、起業人養成講座では、Zoomを活用したハイブリッド型の講座を実施した。さらに、3年間の学びの成果の発表としてプレゼン大会を実施し、大会の様子をYoutubeliveで配信するなど、ICTを活用した発信を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 中央公民館及びかめやま人キャンパスの講座は、新型コロナウイルス感染症の影響で、9月・10月・11月・2月の講座を中止とし、可能な限り学びの機会を提供するため、日程調整できるものについては延期して講座を実施した。かめやま人キャンパスのうち起業人養成講座については、全ての講座をZoomと会場参加を併用したハイブリッド型で実施したほか、3年間の学びの成果の発表として、プレゼン大会を企画し、大会の様子をYoutubeliveで配信を行った。くらし人、歴史人、森と水の守り人講座については、十分な講座回数を確保することができなかつたため、令和4年度も引き続き講座を開催する。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 中央公民館講座については、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して講座を運営することで、可能な限り学びの機会を提供し、様々なジャンルの講座を実施することができた。 かめやま人キャンパスについては、起業人養成講座を修了し、10人のかめやま人の認定を行った。 また、10人のかめやま人のうち2人が、新たに起業することができた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 かめやま人の今後の活動を支援するため、行政関連部署や市内外の団体と連携するとともに、かめやま人キャンパスの諸活動の発信を行う必要がある。また、現在のカリキュラムは令和4年度が最終年度となることから、新たなジャンルのカリキュラムを検討する必要がある。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続 (拡大) <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (現状維持) <input type="checkbox"/> 継続 (縮小) <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 かめやま人の認定を受けた方を対象にフォローアップ講座を開催するとともに、行政関連部署や市内外の団体と連携しやすい土壌を形成するため、かめやま人キャンパス自体やかめやま人の活動を周知していく。また、かめやま人キャンパス推進委員会の中で、令和5年度から開講する新たなカリキュラムを構築する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 かめやま人キャンパスの周知を行うことで、受講者が今後活躍する場を創出することにつながる。また、新たなカリキュラムの開講により、人材発掘や人材育成がなされ、地域の活性化や地域課題の解決に寄与することができる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育グループリーダー 高重 京子
【最終評価者】	教育委員会事務局 生涯学習課長 桜井 伸仁

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A	A	A	B
	成果	B	B	A	A	A

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		15,800 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	15,800 千円
	令和4年度への繰越額	千円